

製品説明書

製品名

ReLime【リライム】



日本伝統の漆喰壁が持つ不燃や抗菌などの特長をそのままに、弱点ともいわれる外部での付着力や強度を改善した高機能外壁用漆喰壁です。軒が短い現代風建築や、外部パターン仕上げに最適です。

特長

- ① 外壁で0.8 mmで施工出来るので経済的！勿論内装にも使用可能！
- ② 砂漆喰の工程が必要なく、下地には専用下地のリライムベースをローラー塗りするだけ！
- ③ 壁カラーの混入で自由な着色が可能！

商品概要

| | |
|------|--------------------------------|
| 商品名 | ReLime(リライム) |
| 容 量 | 主材 12 kg 配合材 800g |
| 塗り厚 | 0.8 mm厚 |
| 塗布面積 | 約 12 m ² (フラット仕上げ時) |
| 混練水量 | 5.5ℓより徐々に加水 |
| 主原料 | 消石灰 |



近畿壁材工業株式会社

656-1521
兵庫県淡路市多賀 2150
電話 :0799-85-1147
FAX :0799-85-2030
info@kinkikabezai.com

商品説明書

■施工要領

①下地

※外部

ラスモルタル下地・・・乾燥したモルタル下地に「リライムベース」を刷毛、ローラーで塗布し乾燥させ、その後「リライム」を塗り付けて下さい。

リライムは漆喰で硬く弾力がありません。下地の亀裂や反りがあれば追従してクラックが入る為、亀裂が発生しないように各モルタルメーカーの指示に従い全面ネットなどで亀裂対策を行って下さい。またモルタル施工後の乾燥期間を7日以上設け完全乾燥して下さい。

※内部

石膏平ボード下地・・・ジョイント処理後、「リライムベース」を刷毛、ローラーで塗布し乾燥させ、その後「リライム」を塗り付けて下さい。

石膏平ボードはジョイント部分の膨らみが原因で色むらになる事があるので、パテ処理をフラットに行い出来るだけ薄いジョイントネットを使用して下さい。パテ処理後の不陸が大きい場合は、下地に「リライムベース」の代わりに鍍塗りの「ボードベース」を使用して下さい。

その他の下地に関しては、当社にご相談下さい。

②混連

- ・混連不足はクラック等の原因になりますので、ハンドミキサーやモルタルミキサーでよく練って下さい
- ・リライムは漆喰ですが練り置きは出来ません。使用量を練り、練った分は使い切ってください。

③塗り付け

- ・砂しっくい仕上げなど厚塗りする場合は寒水石を混入して下さい（3厘を10kg程度）
- ・本漆喰のような押さえ仕上げは出来ません。フラット仕上げでも多少の鍍波は残ります。
- ・パターン仕上げの場合は、一度平滑に塗り付け、その後木鍍等で模様を付けて下さい。

④養生

- ・外部で使用の場合は用途に応じ撥水剤でリライムを保護して下さい。
※着色したリライムを塗った場合は乾燥後「プロテクターEx」を塗布し二次白華を防止して下さい。プロテクターExを塗布しないと長期的に白華し、白くムラになります。
※パターン仕上げの場合は乾燥後「城かべ撥水剤」を塗布して下さい。パターン仕上げは壁面の吸水が激しく、カビや藻、クラックの原因となりますので必ず城かべ撥水剤を塗布し保護して下さい。
- ・施工後2～3日（完全乾燥まで）は雨がかからないように養生して下さい。

商品説明書

■注意事項

・一般的な注意事項

- 気温 5℃以下での施工はご遠慮下さい。
- 本品は漆喰で強アルカリです。目や口に入らないように注意して下さい。
- 冬季のカラー漆喰は白華による色むらが出やすいので注意して下さい。
- 杉など木部へ付着しないように注意して下さい。変色のおそれがあります。
- 使用後の道具はすぐに水洗いして下さい。透湿樹脂混入の為、乾燥すると取れにくくなります。
- 取り扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護メガネ・マスク等）を着用して下さい。

■面責事項（ご理解宜しくお願いします。）

- 通常は白色なので、着色した場合に色ムラが発生する事があります。事前にサンプルを作るなどで確認して下さい。
- 下地の状況などにより、クラックが発生する事があります。ご理解下さい。

■その他

《応急処置》

- 目に入った場合 …… 直ちに大量の水で洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合 ……直ちに水でよく洗浄し、必要に応じ医師の診断を受けて下さい。
- 誤飲した場合 …… 大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けて下さい。

《廃棄上の注意》

各都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。